

ケルセチン分解抑制成分の発見 ーレスベラトロールは腸内細菌のケルセチン分解を抑制するー

技術の特徴

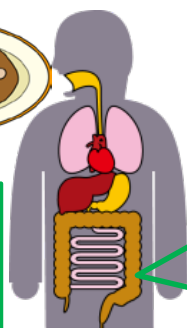
- ・ヒト糞便から、分離したStrain 19-20は、ケルセチン代謝・分解性腸内細菌であり、腸内細菌のケルセチン分解試験に使用可能。
- ・Strain 19-20とケルセチンの嫌気培養液に種々の機能性成分を添加し、ケルセチン分解を抑制する機能性成分を探索可能。
- ・本ケルセチン分解試験を活用してレスベラトロールはケルセチン分解抑制成分であることを発見した。

研究の内容

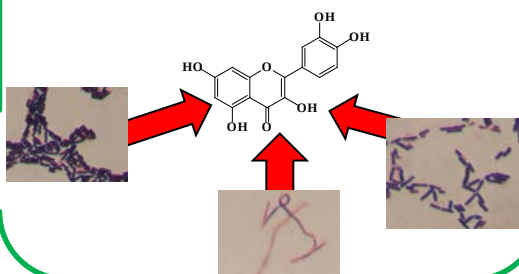
腸内細菌Strain 19-20とケルセチンとの嫌気培養時に種々の機能性成分を添加してケルセチンの代謝・分解性を検討することで、ケルセチン分解抑制性を有する食品成分を見出す。



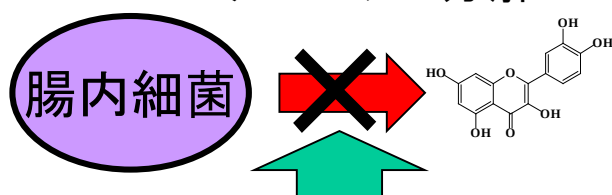
ケルセチンは、タマネギに多く含まれている。



お腹の中で腸内細菌がケルセチンを分解

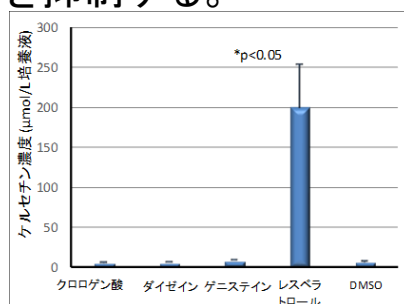


ケルセチン分解



ケルセチン分解抑制食品の検索

レスベラトロールはケルセチン分解を抑制する。



今後の展開

本方法で、腸内細菌のケルセチン分解抑制性を有する新規機能性成分を発見することが可能である。新たに見出されたケルセチン分解抑制性を有する機能性成分は、用途発明につながる。

参 考

Tamura et al., Isolation of a Quercetin-metabolizing Bacterium 19 – 20 from Human Feces. Food Sci .Technol. Res. (2017) 23: 145–150 .